

# 成田市 部活動経営ガイドライン

成田市教育委員会 平成30年10月改訂

「成田市部活動経営ガイドライン」は、健やかな心と体を育む部活動運営の在り方を示し、生涯学習、生涯スポーツに向けた基盤の育成を目指すものです。

基礎技能や、基礎体力を、

①高める ②高める方法を身に付ける

自らの体に関心を持ち、生活習慣の改善と疾病・傷害の予防と対応力の育成

健全な仲間づくりの推進・育成

自らの心の変化に関心を持ち、日頃の生活に生かす

部活動によって集団・社会生活に必要な心と体を、「育み」、「鍛え」、「維持・安定を図る」ことを目指す

心身の調和の取れた部活動運営の実現

生涯学習、生涯スポーツ、地域コミュニティと人材育成の醸成  
「いつでも」 「どこでも」 「いつまでも」

◎勝利至上主義に偏ることなく、児童生徒の心身の発達段階に応じた部活動運営を心がけましょう。

# I はじめに



## 1 学校教育における部活動の意義・目的

- 自主性，協調性，責任感，連帯感の育成
- 児童生徒同士，児童生徒と指導者のコミュニケーションの場
- 児童生徒の心身の発達段階に応じた指導の工夫
- 児童生徒の家庭環境，学校生活に応じた指導の工夫 → 家庭，保護者連携

## 2 学校教育の一環としての部活動

- 学習意欲の向上，責任感，連帯感の涵養，及び好ましい人間関係の形成
- 教育課程との関連
- 教員の負担軽減の観点から学校，地域の実態に応じ地域や各種団体との連携

# II 円滑な部活動経営ができる学校体制づくり

## 1 学校における指導方針及び活動計画

- 全職員による意義の理解と共有化
- 組織的な運営
- 学校目標，学校規模，特色を生かした部活動運営
- 各学校の「学校の部活動に係る活動方針」作成と各部活動での活動計画の作成
- 保護者との情報共有，相互理解

## 2 指導者の人間的資質と管理能力の向上

- 教職員としての資質の向上
- 不祥事防止（わいせつ・セクハラ，パワハラ，体罰，公金管理 等）体制の確立

### 3 外部指導者との連携

- ・運動部活動「課外体育活動支援指導者派遣事業」成田市教育委員会
- ・文化部活動「中学生の文化部活動活性化事業」成田市

### 4 保護者連携

- ・練習，大会参加への理解・協力を得られるように「部活動運営方針」や「年間計画」を年度当初の保護者会等で提示するとともに，日頃からの連絡を密にすることで相互理解を図れるようにする

## Ⅲ 心身の調和の取れた好ましい成長につながる指導をめざす。

### 1 「学校の部活動に係る活動方針」の策定

- ・学校教育目標を踏まえたうえで，生涯学習の基礎を育む
- ・児童生徒個々の心身の発達段階に応じた内容とする
- ・毎年度，見直しを図る

### 2 効率・効果的な活動の推進

- ・練習日は原則として，1週間のうち平日に1日以上，週末に1日以上少なくとも週当たり2日以上以上の休養日の設定
- ・練習時間は，平日2時間程度，休日3時間程度とする
- ・月練習，大会計画の児童生徒，及び各部活動保護者への公表
- ・過度な体力的，時間的，経済的な負担とならないものとする
- ・学校長の月練習，大会計画の把握，及び指導・助言

### 3 体罰・いじめ等の防止について

- ・体罰行為の禁止と理解
- ・セクハラ行為の禁止と理解
- ・パワハラ行為の禁止と理解

- いじめに対する危機意識と管理

(いじめに対しての知識と認識, 未然防止, 早期発見, 早期対応, 早期解決)

## 4 安全管理と事故防止

- 健康状態の把握
- 指導（活動）中の安全管理
- 施設・設備・用具の安全管理と定期的な安全点検
- 登下校（気候・気象, 疲労度 等）への配慮
- 天候・気象（雨, 風, 雷, 気温 等）状況への考慮
- 事故への対応（応急処置と緊急体制の確立）



## 5 会計の取り扱い

- 学校長の承認
- 必要最低限の物品と額に収める
- 会計事故の防止（複数体制, 定期的整理, 説明責任 等）

# IV その他

## 1 部活動の開設, 休部・廃部について

- 数年先を見据えた計画
- 保護者への説明責任
- 現部員への配慮（休部・廃部）
- 組織委員会の設置
- 関係機関との連携（開設, 及び休部・廃部）

## 2 合同チームについて

- 所属団体の規則に従い, 生徒, 保護者, 顧問, 学校間での協議を十分に行う
- 顧問間での連携を密にし, 一方の学校に負担が偏らないように配慮する